

もっと女性が活躍できる建設業を目指して
—日建連の決意—

平成26年8月22日
(一社)日本建設業連合会

今日、日本の総人口が減少に転じ、人口減少社会を迎えようとしている中で、活力ある経済社会を維持するには、女性の持つポテンシャルを引き出すことが欠かせないとの観点から、産業活動のあらゆる分野で、もっと女性が活躍できる企業文化を早急に整えることが求められている。

日建連では、将来に向けて活力ある建設業を再生し、維持するため、これまで男性中心であった建設生産方式を女性が持てる力を存分に発揮できるものに再構築することを決意し、以下のとおり、今直ぐに始められることから取り組むこととしたい。

- 1 日建連会員企業は、技術系女性社員の比率を5年間で倍増、10年間で10%程度に引き上げることを目指し、土木系、建築系などあらゆる職種で、意欲ある女性を積極的に採用する。
- 2 日建連会員企業は、現在は30歳超の女性社員が非常に少ない社員構成の下にあって、女性管理職を5年間で倍増、10年で3倍程度に引き上げることを目指す。将来においては、管理職に占める女性の比率を3割にすることを念頭に、意識改革を促し、さらに女性役員の活躍を期待する。
- 3 女性が持てる力を存分に発揮できる建設生産方式に再構築するため、特に育児に配慮した勤務形態の導入や現場環境を改善するためのマニュアルを早急に策定するとともに、女性が働きやすい現場環境の整備を促進する表彰制度を実施する。
- 4 日建連会員企業は、多数の女性が施工に従事しているまたは女性が中心となって施工を担う「なでしこ工事チーム」について、日建連に登録できることとする。日建連は、「なでしこ工事チーム」の活躍状況をHPで紹介する。

平成26年8月22日

女性社員採用・登用アンケート結果の概要

1. 技術系女性社員の現状（回答企業33社の平均値）

- ・比率 3.4% [技術系女性社員/全社員]

※女性社員の採用の見通しについて

- ・1/3の企業が、女性従業員の採用数、割合の目安を設定していると回答した。

- ・平成27年4月に入社を見込んでいる女性の割合

全職種

平均16.2% [女性入社見込み（全職種）/全入社見込み（全職種）]

技術系

平均11.8% [女性入社見込み（技術系）/全入社見込み（技術系）]

事務系

平均37.8% [女性入社見込み（事務系）/全入社見込み（事務系）]

2. 女性管理職の現状（回答企業37社の平均値）

- ・比率 1.5% [女性管理職/全管理職]

※30歳超の女性社員の現状（回答企業33社の平均値）

- ・比率 7.9% [30歳超の女性社員/全社員]

（女性総合職比率 1.0% [30歳超の女性総合職/全社員]）

以上